

農研機構 農業機械分野パーマナント研究職員公募課題一覧

公募番号	研究部門・センター	領域	勤務地	課題名	業務内容・キーワード
MP-001	北海道農業研究センター	寒地水田輪作研究領域	北海道 札幌市	スマート農業機械の設計開発	北海道の大規模水田輪作地帯では、経営規模の拡大に伴い、スマート農業に対応した農業機械へのニーズが急速に高まっている。本課題では、各種センシング技術により取得される圃場データを活用し、ISOBUS (ISO 11783) に準拠したTIM (Tractor Implement Management) による北海道の大規模水田輪作体系に適した大型トラクタと高性能インプレメントの高度な協調制御を開発する。 【キーワード】TIM (Tractor Implement Management) 、ISOBUS (ISO 11783準拠) 、協調制御 (トラクタ・インプレメント) 、スマート農業
MP-002	中日本農業研究センター	大規模水田輪作研究領域	新潟県 上越市	多雪重粘土地域の水田輪作体系に対応した作業情報取得手法の開発と取得情報に基づく作業性改善技術の開発	日本海側多雪重粘土地帯の大規模化が進行する水田輪作経営を対象に、これまで開発してきた各種スマート農業技術を活用して、農作業情報を中心に付随する圃場情報、作物情報の取得技術の開発を行う。また、これらの情報に基づいて、他地域に比して乾燥が進みやすく、かつ作物間の切替えが短い条件下に向けた作業機の改良や作業性の改善技術の開発を行い、各種農作業の高能率化、安定化を図る研究を実施する。 【キーワード】水田輪作、作業情報取得技術、高能率作業、作業性改善
MP-003	西日本農業研究センター	中山間水田利用研究領域	広島県 福山市	中山間地域での土地利用型作物を対象にした小型電動自律作業機と運用技術の開発	農業従事者の減少が進む中山間地域において、中小区画の多筆圃場の管理に適した小型電動自律作業機およびその運用技術を開発し、農作業の省力化・省人化と労働生産性の向上を図る。 【キーワード】中山間地域、小型電動自律作業機、多筆管理、土地利用型作物
MP-004	九州沖縄農業研究センター	暖地畑作研究領域	宮崎県 都城市	カンショ・野菜のスマート生産体系構築に向けた省力・効率化作業技術の開発	小規模経営が中心な役割を担う南九州を中心にしたカンショ・野菜生産現場では、小型作業農機を活用した省力化や効率化が求められている。そこで、農業機械工学的手法により、育苗・定植、栽培管理を対象として、自動制御・ロボティクス技術等を活用した省力化技術や、リモートセンシング技術や得られたデータ等を活用した効率化技術を開発し、それらを統合したスマート生産体系の構築を通じて、暖地畑作の高収益化に貢献する。 【キーワード】農業機械通信、システム開発、センシング、情報処理、機械工作
MP-005	農業機械研究部門	安全検査部	埼玉県 さいたま市	ロボット・自動化農機検査方法・基準の開発	ロボット・自動化農機の検査方法・基準に関する研究および策定・改正 【キーワード】ロボット農機、安全性検査、検査方法・基準
MP-006	農業機械研究部門	機械化体系研究領域	埼玉県 さいたま市	農作業のスマート化による生産性向上と安全性の強化	デジタルツインを活用した農作業事故抑止システムの検証技術、高精度位置情報に基づく車両制御技術の開発 【キーワード】自動化農機、車両制御、デジタルツイン、農作業安全

※審査の結果、別のポストをお勧めすることがございます。